

令和3年度 佐渡教育コンソーシアム活動報告・予定

時期	内容
4月	第1回 幹事会の開催
6月	羽茂高校でのSDGs授業の実施
7月	佐渡総合高校でのSDGs授業の実施
8月	高校生議会（羽茂高校、佐渡総合高校）の実施
9月	島留学のためのワーキンググループによる協議をスタート（継続）
	高校と大学連携に関する調査
10月	浦崎教授講演会「高校×地域の協働づくり」の開催
	探究学習のモデルチームの募集
	羽茂高校でのおけさ柿収穫体験授業
	佐渡市ホームページに専用サブサイトを作成
11月	第2回 幹事会の開催
	地域みらい留学への参画（仮申し込み）
12月	コーディネーター赴任
1月	高大連携のためのワーキンググループによる協議をスタート（協議）
3月	総会の開催(予定)

羽茂高校・佐渡総合高校での SDGs 授業の実施（6，7 月）

地球環境戦略研究機関（IGES：アイジェス）から講師を招いて、SDGs の考え方を取り入れた授業を実施しました。

6 月 23 日には羽茂高等学校、7 月 20 日、27 日には佐渡総合高等学校でワークショップや講義を行いました。生徒の皆さんは、世界的な目標である SDGs について学び、そして「2030 年の佐渡のあるべき姿・ありたい姿」を考えました。今回のワークショップでは、佐渡市の課題に触れる機会を得ることができました。



高校生議会（羽茂高校、佐渡総合高校）の実施

探究学習の一環として「高校生議会」を開催しました。

生徒たちは、市政の課題解決に向けた政策提案を自ら考え、市長をはじめ執行部に対して代表質問を行いました。自分たちの質問が SDGs の 17 の目標のうち、どの目標と関連があるかを考える中で、これらが他人事ではなく、佐渡や自分たちにも関係ある身近なものとして考える良い機会になったようです。



【高校生による代表質問(一部)】

人口減少対策のための子育て支援について(羽茂高校)
太陽光等の再生可能エネルギーの利用について(羽茂高校)
高齢者に優しいまちづくりについて(佐渡総合高校)
水質保全・自然環境保護の取組について(佐渡総合高校)

島留学のためのワーキンググループによる協議をスタート（継続）

羽茂高校における島留学を推進することを目的としたワーキンググループで協議を開始しました。

浦崎教授講演会「高校×地域の協働づくり」の開催

来年度より高校での新指導要領の本格実施が近づく中、高校と地域との連携がより一層重要な状況となってきています。今回、大正大学の浦崎先生を講師に迎え、高校と地域の協働について、関係者全員で学びました。

当日は 33 名の関係者の方にご参加いただきました。（オンラインでの参加は 4 名）



探究学習のモデルチームの募集

全国で新指導要領の本格実施が近づくなか、高校と地域の連携の実践の場として、マイプロジェクトなどの探究学習のモデルプロジェクトを開始しました。

2校（4名）の生徒が応募していただき、マイテーマの選定をスタート地点として、今後、具体的なアクションのサポートをしていく予定です。

羽茂高校でのおけさ柿収穫体験授業

「地域の課題について体験を通して深く学ぶ」ことを目的として、羽茂高校と連携して、地域体験を行いました。

佐渡の特産品である、「おけさ柿」の選果場の見学や、おけさ柿の収穫体験などを実施しました。これまで、SDGsの授業で持続可能性について知り、高校生模擬議会では佐渡全体の課題について考えてきた生徒たちは、今回の地域体験で実際の農業に触れることでリアルな佐渡の現状を感じることができたようです。



コーディネーター赴任

教育コンソーシアムの運営補助や市内の各学校と多様な団体（企業、地域団体、大学など）とのマッチングをおこなうコーディネーターとして地域おこし協力隊（教育コンソーシアム担当）が着任しました。

高大連携のためのワーキンググループによる協議をスタート（継続）

高大連携に向けた情報共有・意見交換を目的としたワーキンググループで協議を開始しました。ワーキンググループのメンバーとして、佐渡高校、羽茂高校、新潟大学、大正大学の関係者が参加し、高校・大学双方にとってより良い高大連携のあり方について議論しました。また、大正大学と大田区(東京都)の複数の小学校による連携事業等についても情報共有がなされ、高校だけではなく、小・中学校と大学との連携も求められているとの意見がありました。

高等学校での探究学習の支援(羽茂高等学校・地域探究コース)

羽茂高校の授業にコンソーシアムのコーディネーターが参加し、探究学習の支援をおこなっています。生徒や教員の要望に応じて大学や企業、地域の関係者とつなぐことで、探究学習を充実させ、子どもたちに「より良い学びの場」が提供できるように支援しています。

【高等学校での探究学習の支援例】

- ・海洋ゴミに問題意識を持った生徒が佐渡海洋深層に自然環境問題への取組やポリ乳酸を利用した環境に優しいペットボトル製品についてヒアリングを行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で家族旅行や修学旅行が中止になったニュースを知り、スマホ等を利用したVR観光について観光振興課の職員へプレゼンテーションを行い、フィードバックを受けた。

